

アフターコロナで巻頭言がバズる3つの理由

物化H26 武下 直樹



※この記事は学生向けにフランクに書いています。

ブンブンハロー明専会報！

旧明専寮最後の総代、武下です。

今日は皆さんに、「アフターコロナで巻頭言がバズる3つの理由」というテーマでお話をしたいと思います。

「巻頭言」については、みなさんご存じだと思いますが、もし知らない人がいたら後述のQRコードを読み取ってYouTubeにアクセスしてみてください。だいたい雰囲気や流れが分かると思います。

あと、巻頭言を知っている人は、巻頭言の歴史についてはさらに後述のQRコードを読み取ってください。自身の巻頭言に更なる深みが増すと思います。

巻頭言はアフターコロナの新しい社会を有利に勝ち抜いていく上で非常に重要な要素を持っています。

その中でも今日は特に重要な要素について、3つだけ取り上げて皆さんに紹介したいと思います。

1、「伝統」が重みを持つ

・巻頭言といえば100年の歴史を持つ九州工大の伝統の代名詞、なのに、短時間で習得しやすくコストパフォーマンスが高い

・コロナ禍により、様々な会社・団体が立ち行かなくなり、その姿を消した。その中で残った伝統や風習は益々大きな価値を持つようになった

・動画として素材になりやすい巻頭言は「映え」やすく、容易に拡散しバズりやすい。そのまま他人への自己紹介動画としても使用可能

・北大や東農大、早稲田大など、各地の名門大学は学歌を大事にしていることが多い。巻頭言は学歌とセットで扱われることが多いため、それらの学生やOB達とメール交換のよいな形で交流を持つことができる

(寮歌祭)

2、「発散」できる大義名分

・多くの国民がコロナワクチンを接種し、感染者数もかなり抑えられて

きてはいるが、カラオケや演劇などの声を出す行事・娯楽は相変わらず自粛を促されることが多い

・その中においても巻頭言は大勢が同じ空間で日頃出さないような大声を出し、同じ歌を歌うということが容認される

・大声を出す巻頭言は爽快感を得られ、日頃のストレスやフラストレーションを一気に発散することができる

・巻頭言をやっている本人も大声を出して皆の注目を浴びるといふ非日常体験を通して、まるでライブの出演者のような高揚感を得られる

3、「絆」を深められるレアアイテム

・生活様式や社会のトレンドが変わっていく中で、昔から唯一変わらないものというのは世代を超えてコミュニティ

・巻頭言の経験者同士は独自の絆が生まれやすく、これが糸口となって人間付き合いが始まり、就職が決まるケースさえもある

・巻頭言は会合や会食の一番終わりに執り行われることが多い。「終わりが良ければ総て良し」と言うように、最後に行われる行事には強烈なインパクトがある

・巻頭言を行った人間は人々の記憶に残りやすく、一度でも会合に出れば10年後も覚えていただけることがある(あの時のキミか！)

このように様々な要因が相乗効果で掛け合わせられ、巻頭言の価値を指数関数的に押し上げてくれるというわけです。ただ悲しいかな、現在巻頭言を公式に伝承している団体は限られており、私が知る限りでは左記のものだけです。

- ・明専寮
- ・めいせんサークル
- ・少林寺拳法部
- ・一部の研究室(詳細不明)

もちろんYouTubeなどを見て独学で学んでも良いと思いますが、こればかりは実際に教わった方が習得や上達も早いと思います。

なので、もし巻頭言を学びたいという人が居たら、先述の団体の関係者に相談してみてください。きっと真摯に対応してくれるはずですよ。

終わりにになりましたが、今後の九州工大の益々の発展を祈って、よしや巻頭言!!



↑巻頭言の実演



↓明専寮の歴史

おすすめ動画検索

「東京農大 大根踊り」

「熊大 巻頭言」

→チャリリーダー付きのやつが迫力あります。

「早稲田大 エール」

→チャリリーダー付きのやつが迫力あります。

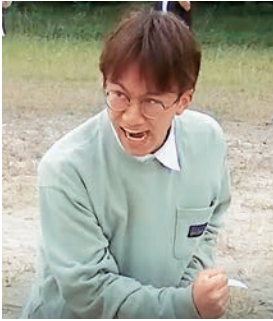
全力巻頭言

工学2類1年 岡本 侑城



明専寮に入寮してから8カ月が経過しました。振り返ってみると、様々なことが記憶に残っていますが、その中の一つに巻頭言があります。事前と同じ階の先輩から、昨年度の巻頭言の様子を見せてもらいました。そこで私が見たものは、あまり大声を出すイメージが無い先輩の、全身全霊で巻頭言に取り組んでいる、かっこいい姿でした。そんな姿に胸を打たれ、「やるなら全力で」を motto に学校の授業が終わってから、巻頭言の歌詞を暗記しました。巻頭言の前夜になると、同じ階のメンバーは皆興奮しており、夜中の12時を過ぎてからも、共有スペースや個人の部屋で練習していました。扉越しに声突き抜けてくるほどの声量だったので、おそらく寮の外まで聞こえていたでしょう。いざ当日、明

専会の方々も見学に来られていたり、うまく歌詞が暗記できているか不安だったりなどで、グラウンドは若干緊張に包まれていたように感じました。しかし、そんな緊張も巻頭言が始まるや否や、すぐに消え去りました。グラウンドの中央に立つたら全力で歌う。周りにいるときは全力で掛け声を出す。寮生50名が一致団結して声を出すことはとても楽しく、気持ちの良いものでした。私の出番は一番最後だったので、人生の中で最も大きな声を出せた自信があります。全力で物事に取り組む事にはとても気がいられます。と同時に、仲間と取り組むことで得られる達成感も非常に大きいです。寮に残ることができたら、新たに入ってくる1年生に、巻頭言に取り組むことで得られる気持ちよさや達成感を伝えたいです。そして言いたい、「やるなら全力で」と。



一丸となり楽しめた伝統

工学2類1年 高熊 海人



10月の末に明専寮でのプログラムとして巻頭言に参加させていただきました。明専寮の入寮式に出席した際に、寮の2年生から巻頭言というものがあるというのを聞いており、その内容を聞いたときはとても楽しそうだと思いき、巻頭言が実施される日を心待ちにしておりました。本来であれば6月ごろに実施される予定でしたが、コロナウイルスの関係によって延期となってしまいました。延期となってしまったのは残念ではありましたが、実施することができたことはとてもありがたいと思います。グラウンドで巻頭言を行って、寮生の全員が大きな声を出して巻頭言に取り組んでおりました。巻頭言を

行う人たちが円の中に行くと、自然と周りから励ましの声がかかってきたため、寮生全員が楽しみながら巻頭言を行うことができました。また、寮生全員が一丸となって同じことに挑戦していくというのは数少ない機会でしたので、とても有意義な時間であったと感じます。

この巻頭言というものが伝統として長きにわたって受け継がれているものであるため、これからも絶えることなく引き継がれていくよう励んでいきたいと感じました。巻頭言はみんなが一丸となり楽しむことができる行事でありましたので、是非ともこれから入学して来る九州大生にも巻頭言に励んでくれるように伝えていきたいと思っています。



巻頭言を通して

工学3類1年 橋本 夏



とても貴重な体験ができたなと思います。巻頭言のような伝統を、今まで小・中・高等学校では体験したことがありませんでした。大学生になつて巻頭言というものの存在を聞いて、はじめは「こんな伝統があるんだな」というくらいにしか思っていませんでした。巻頭言を初めて見たときには難しい言葉がならんでいるなと思っていましたが、意外と覚えやすかったです。共有スペースのキッチンなどに巻頭言のセリフをコピーしたものを張り、みんなで覚えたいのとはとても楽しかったです。巻頭言をする場所がグラウンドと知ったときに、「外で叫ぶんか、恥ずかし

いな」と思いました。大学生にもなつて外で叫ぶことはそうそうないので少し躊躇しましたが、みんなで掛け声をしてとてもいい空気の中で巻頭言をすることができました。実際やってみると周りの目を気にすることなく夢中になっていました。今回の巻頭言練習を通して、みんなで一つのことをするということはすごくいいなと改めて思いました。そして、みんなで一致団結でき、達成感と満足度でいっぱいでした。九州工大の巻頭言をしっかりと引き継いだので良かったなと思いました。今年、先輩方からしっかりと伝統を受け継ぎ、来年は後輩たちにしっかりと教えつ、さらに良いものにしたいです。



巻頭言がくれた体験

工学4類1年 崎山 翼



明専寮毎年の伝統行事である巻頭言を行つて、九州工業大学に伝わる素晴らしい伝統を知ることができました。巻頭言を行うにあたって、本番前から巻頭言の暗記や振り付けの練習を同じ寮の仲間と行いました。先輩が昨年度行った巻頭言を参考に、大きな声を出して、振付があつてるかどうか仲間と確認しながら練習しました。みんな「難しい」や、「できた！」と喜びながら同じものを行うのはとても楽しくて充実した時間になりました。巻頭言のような伝統は、それを行う瞬間もとても重要ですが、それを仲間と練習する過程にもとても価値があると感じました。一つの目標に向かって、一緒に互いを高めあう時間は、かけがえない貴重な時間だと感じました。そ

して迎えた本番、昼の時間に最終確認をみんなで行ってグラウンドへ向かいました。グラウンドで大声を出して、振付をするのは大学生になつて少し恥ずかしいと感じていましたが、最初からみんな大声で掛け声を出して、中心で巻頭言を堂々と披露していた寮の仲間を見たら、そんな不安は吹き飛びました。いざ自分の番になると、同じ階で一緒に練習した仲間から声援を受けて、心強い気持ちで巻頭言を披露することができました。みんなの前で披露する巻頭言は、今までの練習成果を十分に発揮できて、とても気持ちの良い巻頭言でした。このような体験から、九州工業大学に伝わる巻頭言は、仲間とのつながりをより強固にし、自分に自信をもたらしてくれるとても素晴らしい伝統だと思います。来年は、自分新しい明専寮生に巻頭言を伝えていきたいです。

